

(様式1)

環境配慮検討書

農商第14-249号

平成19年9月28日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

三重県 農水商工部 水産基盤室

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	漁港関連道整備事業（桃取地区）
連絡先 担当室または課所名	農水商工部 水産基盤室

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1) 名称	漁港関連道整備事業（桃取地区）		
(2) 目的	<p>答志島の3漁港（答志、和具答志、桃取）においては、整備がほぼ完了しているものの、荒天時に安心して停泊できる岸壁が不足していることや、離島における地理的条件により漁具干場、加工場用地が不足していることから、避難港及び加工場基地としての舟越漁港の整備が進められています。また、答志、和具答志から舟越漁港への連絡道路として平成17年に答志関連道が完成し利便性は向上しました。しかし、桃取地区からの移動経路は県道答志桃取線が唯一あるものの、道路幅員が3～5mと狭く急峻な山間部を經由することから車両の対面交通や落石等による交通障害が発生し、利便性や安全性の改善が求められています。</p> <p>これらのことから、桃取地区から舟越漁港への連絡道路として、関連道路を整備し効率的な流通体制を確立し、漁獲物加工製品の輸送コストの縮減および鮮度保持、安全性の向上を図ることを目的とする。</p>		
(3) 事業主体	三重県伊勢農林水産商工環境事務所		
(4) 計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること	事業箇所：三重県鳥羽市桃取町桃取地内 事業延長： L= 1.9 km	
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※配置図を添付すること	道路規格	第3種第5級
		設計速度	V=20km/hr
		幅員構成	W=5.0m(0.5+4.0+0.5)
		計画延長	L=1.9km
	③用水の使用計画	該当なし	
	④エネルギーの使用計画	該当なし	
⑤雨水、汚水の排水計画	雨水：道路側溝で集水し、現況流域に極力合わせ、河川、水路等の公共用水域へ排水する。 汚水：該当なし		
⑥道路・交通計画	該当なし		
⑦工期	ア) 着工の予定時期 イ) 完工及び共用開の予定時期	<ul style="list-style-type: none"> ・着工：平成21年 5月頃予定 ・完工：平成27年 3月頃予定 ・共用：平成27年 4月頃予定 	
(5) 関連事業計画	舟越漁港地域水産物供給基盤整備事業 防波堤L=110m、突堤L=115m、-3.0m泊地浚渫A=4,200m ² 、-3.0m岸壁L=270m、浮桟橋1基、道路L=1,060m、漁港施設用地A=1,900m ²		
(6) その他	なし		

2 計画地の社会的条件の現況等

(1) 計画地の社会的条件の現況	①交通の現況	<ul style="list-style-type: none"> ・道路網 島内の主要道路は、一般県道759号答志桃取線があり3集落を結ぶ唯一の道路である。 急勾配の山中を通過するため曲線区間が多く、幅員が3mのところも多く、崖崩れの恐れもある。 ・交通状況 (H17センサス) 617台/24h (平日) 509台/24h (休日)
	②土地利用の現況	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽市の離島地域であり、集落は急斜面に密居しており、平坦地は殆どない。谷あいには、農地が点在していて、住環境は本土に比較して劣悪である。
	③水域利用の現況	かんがい用水は、溪流からの水を利用している。
	④生活関連施設の現況	<p>生活関連施設の立地状況</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 学校施設：答志小学校・答志中学校 b. 医療施設：診療所 c. 文化施設： d. その他：鳥羽磯部漁業協同組合 (桃取支所、答志支所、和具浦支所)
(2) 関連法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	<p>自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域） 鳥獣保護区の指定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 自然環境保全地域の指定： 指定あり（第3種） b. 自然公園地域の指定： 指定あり c. 鳥獣保護区の指定： 指定あり
	②土地利用規制の現況	<p>都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 都市計画法： 規制なし b. 農業地域振興法： 規制あり (農業振興地域、農用地区域) c. 森林法等： 規制あり

3 計画地の自然的条件の現況

(1) 地形・ 地質	文献調査	文献名	三重県水田および畑地土壌生産性分級図 及び国土庁：土地分類図（三重県）
	現地調査の有無	有 ・ (無)	(実施日時)
	聴取調査の有無	有 ・ (無)	
	調査結果等	<p>地形： 鳥羽市周辺の離島は、陸部の上昇によって形成された海岸段丘地形である。</p> <p>地質： 古生層群に分類され、変成岩類を主とした固結水成岩を成分とする。 層厚は、3000m程度にも及ぶとされている。 また、谷あいの耕地は、強グライ土壌であり、農地としては適していない。</p>	
(2) 水象	文献調査	文献名	
	現地調査の有無	有 ・ (無)	(実施日時)
	聴取調査の有無	有 ・ (無)	
	調査結果等 ①河川、湖沼	該当なし	
	②海域	該当なし	
(3) 気象・ 大気質等	調査の方法	文献調査（津地方気象台 1979～2000）	
	調査結果	<p>計画地最寄(鳥羽)の観測データは次の通りである。</p> <p>a. 気温 : 年平均気温 15.6℃前後 b. 降水量 : 年平均降水量 2,347mm c. 最多風向 : 北西 d. 風速 : 2.1m/s e. 大気質 : — f. 水質 : — g. 騒音 : — h. 振動 : —</p>	

(4) 生態系等	文献調査	文献名	三重県レッドデータブック2005 自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)	
	現地調査の有無	有 ・ (無)	(実施日時)	
	聴取調査の有無	有 ・ (無)		
	調査結果等 ①植物	植生の概要	： 計画地周辺の主な植生は、杉・ 檜の植林地が多い。 貴重な植物個体： 三重県レッドデータブック2005 より、二見(当地域含む)、 答志では26種の植物が掲載さ れている。 貴重な植物群落： 自然環境保全基礎調査(特定植 物群落調査)によると、当該地 域に貴重な植物群落はない。	
	②動物	動物相の概要	： 計画地周辺では、タヌキ、キツ ネ、イノシシ等が生息する。 貴重な動物	： 三重県レッドデータブック2005 より、二見(当地域含む)、 答志では哺乳類1種、鳥類23種、 爬虫類4種、両生類2種、魚類 2種、昆虫類9種、真正クモ類 6種、甲殻類4種、貝類14種が 掲載されている。
(5) 自然景観 ・文化財 等	文献調査	文献名	三重県埋蔵文化財センター 伊勢志摩国立公園区域及び公園計画図	
	現地調査の有無	有 ・ (無)	(実施日時)	
	聴取調査の有無	有 ・ (無)		
	調査結果等 ①自然景観	自然景観の概要	： 対象地域は、伊勢志摩国立公 園に指定されており、計画路線 部は、第3種特別地域である。 海岸部は、リアス式であり優 れた自然景観を有する。 貴重な自然景観： 特になし	
	②文化財、史跡、 名勝等	史跡・名勝・天然記念物： 特になし 埋蔵文化財包蔵地	： 古墳・遺跡(計15ヶ所)	
	③野外レクリエーション他	野外レクリエーション他	： 海岸部でのキャンプ場及び魚釣り	
(8) その他、 自然災害 等	該当なし			

4 事業計画の検討内容（複数案比較）

	事業計画案（C案）	比較検討（A案）	比較検討（B案）
(1) 計画の概要	県道答志桃取線の桃取町側から答志島清掃センター進入道路を交差し、刈谷湾南側山裾沿いを通過、終点は舟越漁港に結ぶ平面ルートであり、全線の可能な区間を縦断勾配制限値9%を採用している。 土工バランスが良く、切土法面及び盛土法面の発生を抑えている。また、経済的にも優れた案である。	平面ルートは計画案と同様であるが、全線を最大縦断勾配7%までに抑えている。 土工バランスが悪く、高盛土が多く切土区間が短い。	平面ルートは計画案と同様であるが、桃取起点側のみ縦断勾配制限値9%を採用し、他区間は縦断勾配7%を採用している。 土工バランスはA案に比べ良いが計画案より悪い。
環境評価（*左欄に◎○△を相対評価で記入し、右欄に評価の理由を記入）			
①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築			
②人と自然が共にある環境の保全			
③やすらぎとうるおいのある快適な環境の創造			
①-1 地球温暖化防止	◎ 切盛りのバランスを考えた縦断勾配により森林の消失面積を最小に抑えた。	△ 切盛りのバランスが悪く森林の消失面積が計画案より大きい。	△ 切盛りのバランスが悪く森林の消失面積が計画案より大きい。
①-2 廃棄物対策	◎ 土量の切盛りバランスが取れているため建設残土の発生は少ない。	○ 工事による発生廃材は再資源可能なものについては資源化処理施設に搬入し、最終処分が必要なものについては適正に処理する。	○ 工事による発生廃材は再資源可能なものについては資源化処理施設に搬入し、最終処分が必要なものについては適正に処理する。
①-3 生活環境の保全	◎ 既存集落を迂回するため、生活環境が向上する。	◎ 既存集落を迂回するため、生活環境が向上する。	◎ 既存集落を迂回するため、生活環境が向上する。
①-4 その他重点項目	該当なし	該当なし	該当なし
②-1 野生生物等の生育空間の確保	◎ 森林の消失面積を最小に抑えるため、野生生物の生育空間の減少も比較的小さい	△ 森林の消失面積が大きいため、野生生物の生育空間が減少する。	△ 森林の消失面積が大きいため、野生生物の生育空間が減少する。
②-2 希少な野生生物の保護	◎ 希少な野生生物が確認された場合は、保護等について関係機関と協議を行う。	◎ 希少な野生生物が確認された場合は、保護等について関係機関と協議を行う。	◎ 希少な野生生物が確認された場合は、保護等について関係機関と協議を行う。
②-3 地形、地質等の改変の防止	◎ 切盛に伴う土砂搬出搬入を極力抑えるよう土量バランスを考慮した縦横断計画を行う。	△ 高盛土区間が多く区域外から搬入土が必要になる。	○ 高盛土区間が多く切土区間が短く土量バランスが悪い。
②-4 その他重点項目	該当なし	該当なし	該当なし
③-1 緑化、周辺景観との調和	◎ 切土面及び盛土面へは植生工を施し、周辺景観との調和に努める。	△ 切土面及び盛土面が大きく、法面には植生工を施すが、周辺景観との調和はあまり良くない。	△ 切土面及び盛土面が大きく、法面には植生工を施すが、周辺景観との調和はあまり良くない。
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	◎ 道路残地を利用してポケットパークの設置を検討する。	◎ 道路残地を利用してポケットパークの設置を検討する。	◎ 道路残地を利用してポケットパークの設置を検討する。
③-3 その他重点項目	◎ 埋蔵文化財包像地、史跡等は回避して机上路線選定したが、最終的には関係機関と協議後、路線決定を行う	◎ 埋蔵文化財、史跡等は回避して路線選定しているが、関係機関と協議後、最終路線決定を行う	◎ 埋蔵文化財、史跡等は回避して路線選定しているが、関係機関と協議後、最終路線決定を行う
④ 上記以外の特記事項	該当なし	該当なし	該当なし

※評価項目は同じであるが、計画案が土工バランス等が最も優れているため、評価を上げている。

5 事業計画案の環境配慮に係る評価

長所	極力自然素材を使用し、自然環境の保護に努める。 1.5車線の道路整備としていることから、コスト縮減及び環境配慮に優れている。
短所	特になし
会議で調整を要する事柄	特になし